

リストレジデンス藤が丘フィオーレ

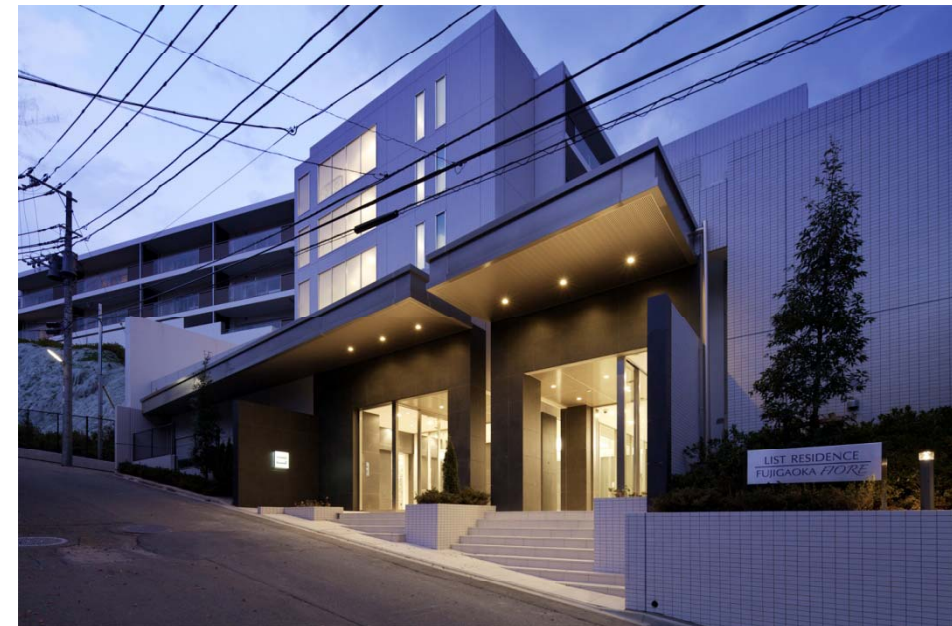
List Residence Fujigaoka Fiore

No. 06-011-2012作成

新築
集合住宅

| | | | | | | |
|-------|-----------------|--------------|--|-------------|--------------|--|
| 発注者 | リスト株式会社 | カテゴリー | A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB | | | |
| 設計・監理 | 株式会社熊谷組一級建築士事務所 | E. リニューアル | F. 長寿命化 | G. 建物基本性能確保 | H. 生産・施工との連携 | |
| 施工 | 株式会社熊谷組 首都圏支店 | I. 周辺・地域への配慮 | J. 生物多様性 | K. その他 | | |

自然の地形を生かした「自然光と眺望」に恵まれたレジデンス



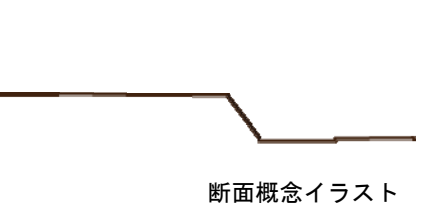
メインエントランス外観写真



フロントレジデンス棟 外観



スカイレジデンス棟 専用バルコニー



断面概念イラスト

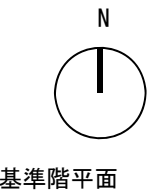
自然光と緑を豊かに取り込んだ住環境

本計画地は、東急田園都市線「藤が丘駅」徒歩7分にあり、閑静な住宅街の広がる丘陵地に位置します。斜面地の特性を活かし建物を大きく4つのブロックに分け、隣棟間隔を確保し、採光及び風を取り入れる空地为約50%確保しました。また、その一部を緑化することにより熱溜りによるヒートアイランドの抑制に配慮した計画としています。

また、低層の住宅街であることから、建物全体のボリューム感を抑え、周辺に与える圧迫感に配慮したフォルム、街並みに配慮した色彩計画、既存樹木の移植を行い緑豊かな地域に共存した景観形成としています。



スカイレジデンス棟
↑
フロントレジデンス棟



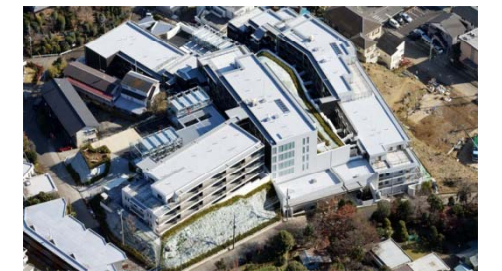
基準階平面

専有部

省エネルギー住宅をコンセプトに、建物本体の高耐久性能を維持すべく、住宅性能評価劣化等級3とし、各住戸には自然冷媒 (CO2) ヒートポンプ給湯器「エコキュート」を採用し、オール電化型の計画としました。

共用部

今回導入した「電気自動車充電システム」・「電動自転車レンタルサイクルシステム」・「宅配ボックス」の電源として、太陽光発電によって得られた電力を利用することにより、環境負荷低減に大きく寄与しています。



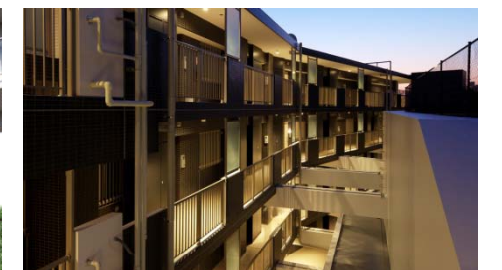
鳥瞰写真



南側外観



フロントレジデンス棟 外観



フロントレジデンス棟 廊下側吹抜

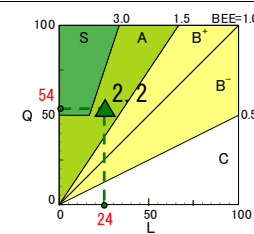
設計 担当者

統括：村尾俊彦／建築：高島誠也／構造：高原伸一
設備／新井 勘／電気：小林昌史

| | |
|-------|-----------|
| 建物データ | |
| 所在地 | 神奈川県横浜市 |
| 竣工年 | 2011年 |
| 敷地面積 | 8,007㎡ |
| 延床面積 | 8,983㎡ |
| 構造 | RC造 |
| 階数 | 地下3階、地上3階 |

| | |
|----------|-----|
| 省エネルギー性能 | |
| 品確法省エネ対策 | 等級4 |

| | |
|----------|--|
| CASBEE評価 | |
| Aランク | |
| BEE=2.2 | |
| 2008年度版 | |
| 自己評価 | |



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- LR1.1. 建物の熱負荷抑制 (複層ガラスの採用)
- LR1.2. 自然エネルギー利用 (太陽光発電)
- LR2.1. 水資源保護 (節水コマ及び省水型機器の採用)
- LR3.2. 地域環境への配慮 (エコキュートの採用)